

東北地方 3か月予報

(9月から11月までの天候見通し)

平成23年8月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

気温は、高い確率50%です。降水量は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

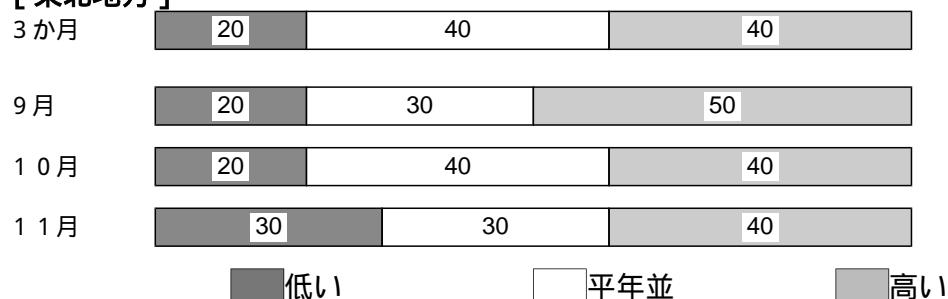
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

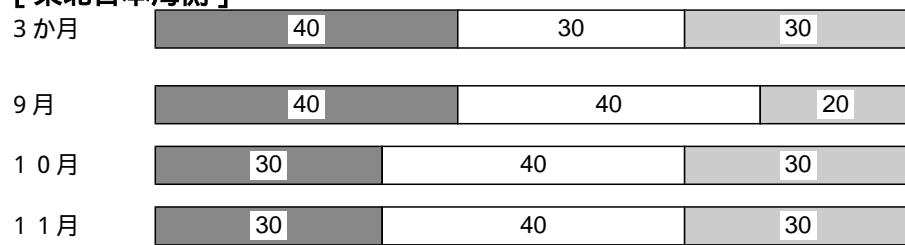
<<気温>>

[東北地方]

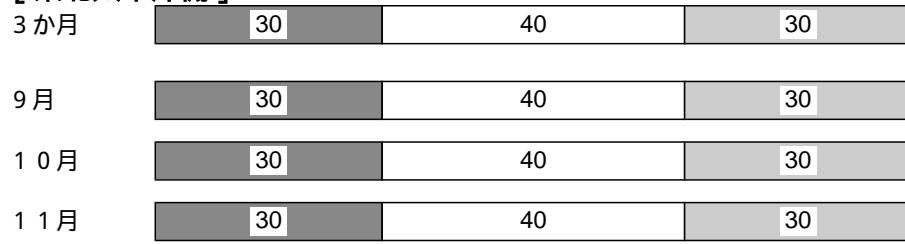


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月26日

3か月予報：9月22日(木) 14時

寒候期予報：9月22日(木) 14時

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月
青森	19.3	13.1	6.8	13.1	122.7	103.9	137.7	364.3	158.4	149.7	87.6	395.6
深浦	19.1	13.5	7.7	13.4	162.9	155.4	146.9	465.2	152.3	131.2	64.9	348.5
むつ	18.3	12.4	6.5	12.4	170.1	109.8	117.4	397.2	144.7	159.0	102.9	406.5
八戸	18.9	13.0	6.9	13.0	167.6	87.2	62.0	316.8	143.6	161.3	133.3	438.2
秋田	20.4	14.0	7.9	14.1	160.3	157.2	185.8	503.3	153.8	145.4	82.7	381.9
盛岡	18.7	12.1	5.9	12.2	160.3	93.0	90.2	343.5	123.7	145.8	116.9	386.4
大船渡	19.5	14.0	8.3	13.9	201.8	140.7	94.1	436.5	116.3	140.7	134.9	391.8
宮古	18.8	13.3	7.8	13.3	213.7	125.7	80.1	419.5	128.0	155.2	147.3	430.5
仙台	20.7	15.2	9.4	15.1	187.5	122.0	65.1	374.6	121.2	148.6	139.6	409.3
石巻	20.1	14.5	8.5	14.4	143.2	119.2	66.6	329.0	133.4	155.7	147.5	436.6
山形	20.1	13.6	7.4	13.7	127.2	92.4	84.5	304.0	128.7	132.1	99.2	360.0
新庄	19.4	12.7	6.4	12.8	144.4	156.6	188.7	487.6	119.0	105.1	62.3	286.5
酒田	21.1	15.1	9.3	15.2	162.1	180.5	225.0	567.6	150.7	141.5	81.9	375.6
福島	21.1	15.1	9.2	15.1	160.3	119.1	65.5	344.9	114.2	135.8	128.3	378.4
若松	20.3	13.5	7.1	13.6	136.9	100.1	78.9	315.9	132.1	121.5	86.8	340.4
白河	19.4	13.5	7.8	13.6	205.8	135.6	69.8	411.1	113.6	138.1	144.8	396.5
小名浜	21.5	16.4	11.1	16.3	188.2	173.8	82.4	444.4	139.5	152.7	160.5	452.6

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	9月	10月	11月	9月～11月
気温平年差()	東北地方	-0.5～+0.3	-0.3～+0.4	-0.3～+0.5	-0.2～+0.3
	東北日本海側	-0.4～+0.4	-0.3～+0.4	-0.3～+0.5	-0.2～+0.3
	東北太平洋側	-0.5～+0.3	-0.3～+0.5	-0.3～+0.5	-0.2～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	89～110	81～107	85～105	89～107
	東北日本海側	83～111	84～109	93～105	93～112
	東北太平洋側	84～117	76～108	69～113	87～110
日照時間平年比(%)	東北地方	95～109	99～105	97～105	97～104
	東北日本海側	97～108	100～103	100～108	96～104
	東北太平洋側	95～109	101～105	94～101	98～103

(3) 接近する台風の平年値

	9月	10月	11月
東北地方	0.9	0.4	0.0

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（9～11月）

平成23年8月25日 仙台管区気象台

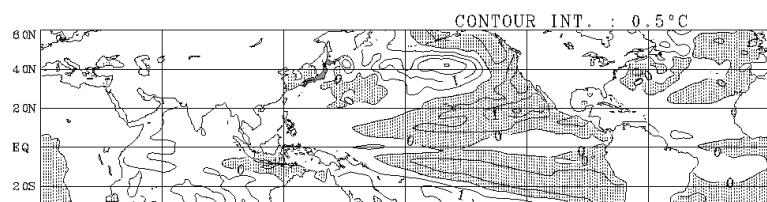
1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

9～11月	この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
9月	気温は、高い確率50%です。 降水量は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。
10月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
11月	

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、太平洋赤道域は全域正偏差で、エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態が秋も続く可能性が高い。インド洋から西部太平洋にかけての海面水温が平年よりやや高い状態となり、東部太平洋の広い領域では海面水温が平年より低い状態が続く見込み。

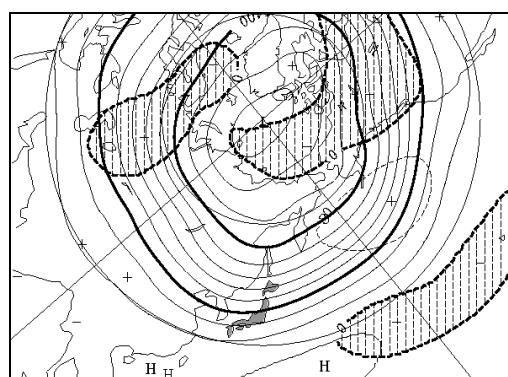


3か月平均の海面水温偏差の予想図

等高線間隔は0.5°C。陰影部は負偏差。

熱帶の対流活動(図略)は、インド洋から西部太平洋にかけて平年より活発、中部太平洋から東部太平洋にかけて平年より不活発の予想で、これに対応して中緯度帯を流れる偏西風は弱まり、日本付近では寒気の南下が平年より弱い見込み。

500hPa高度(中図)は、北東太平洋で顕著な正偏差で、寒帶前線ジェット気流沿いに正負の連なる波列状のパターンがみられる。シベリアから日本にかけて正偏差となり、東北地方は平年より暖かい空気におおわれるため、3か月平均気温は平年並か高くなる可能性が大きい。



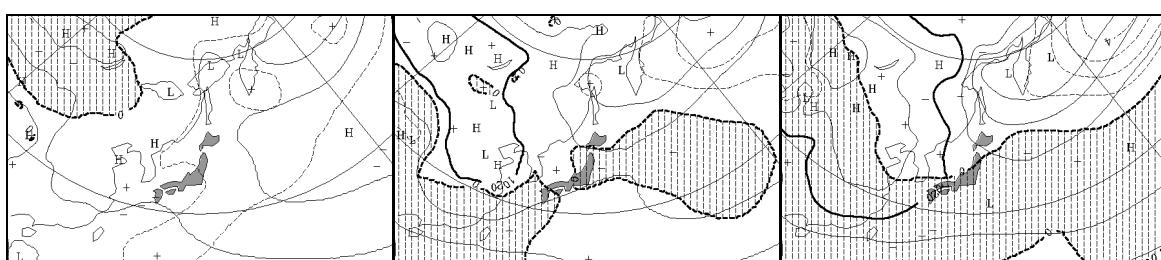
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。
陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

9月: 太平洋高気圧の勢力が平年より強いため、残暑が厳しく、秋の訪れが遅い傾向と予想される。秋雨前線の影響は弱く、東北地方では平年に比べ晴れの日が多い見込み。

10月: 東北地方は高気圧や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わり、高温傾向が予想される。東シナ海から本州の東にかけて負偏差域におおわれ、前線や低気圧の影響を受ける時期がある見込み。

11月: 大陸の高気圧が日本付近へ張り出す。アリューシャン低気圧は平年より弱く、冬型の気圧配置は弱い傾向が予想される。東北地方は高気圧や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わる。低気圧の通過後は、一時的に西高東低の冬型の気圧配置となる見込み。

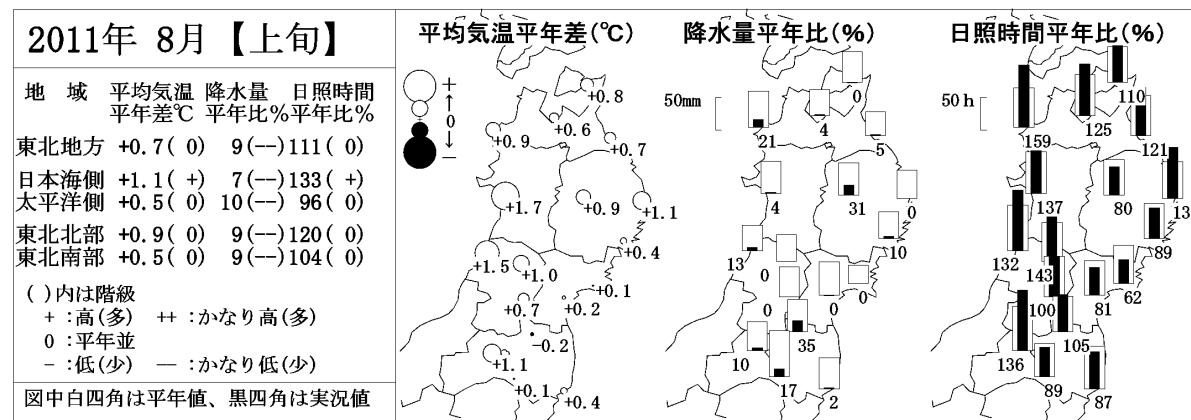


左から9月、10月、11月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

8月上旬：この期間、高気圧におおわれ、晴れて降水量はかなり少なかった。期間のはじめはオホーツク海高気圧が張り出し、東北太平洋側はヤマセの影響を受けたため曇りの日が多く、低温となった。7日と8日は大気の状態が不安定となり東北太平洋側で大雨となったところがあった。10日は気圧の谷の影響で秋田県で大雨となったところがあった。

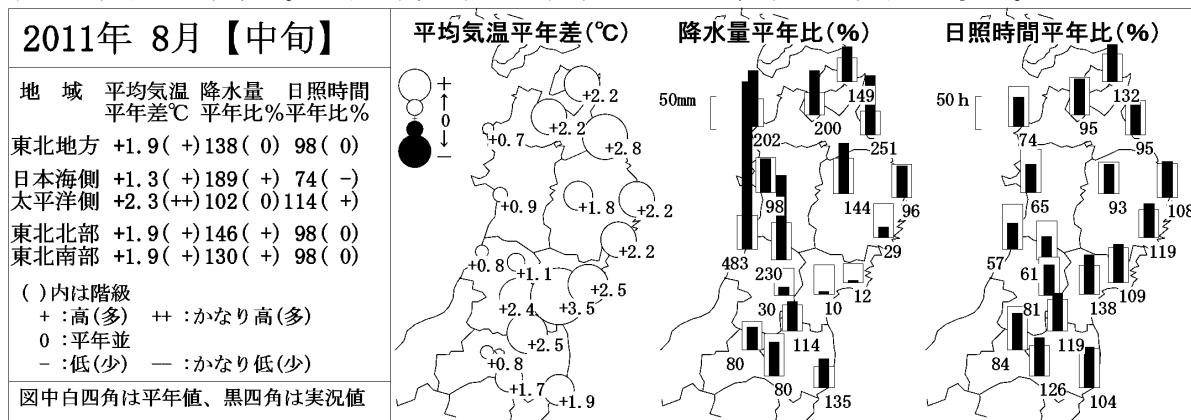
平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



8月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

8月中旬：期間の前半は、高気圧におおわれ、晴れて気温の高い日が多かったが、期間の後半は、前線が東北地方に停滞したため曇りや雨の日が多かった。16日から18日にかけて前線の活動が活発になり東北日本海側を中心に大雨となった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。

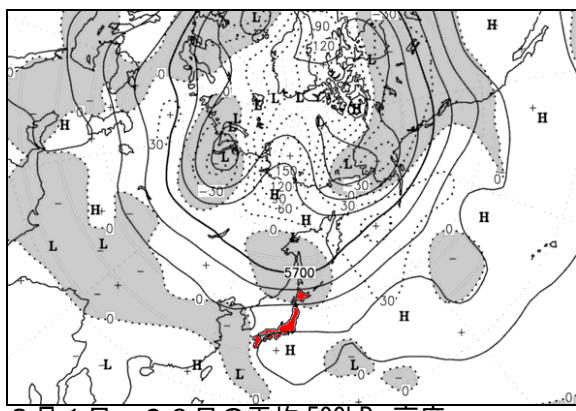


8月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

8月(20日まで)：500hPa高度は、日本付近から太平洋にかけての北緯20度から北緯40度帯は正偏差で、本州付近は正偏差におおわれた。北極付近は広く正偏差となり、高緯度帯に波列パターンの形成がみられ、寒気が南下した。

東北地方は、上旬の前半にオホーツク海高気圧の影響を受け太平洋側では低温となった。その後は太平洋高気圧が強まり、晴れて気温が高くなつたが、中旬の中頃からは前線が停滞しぐずついた天気となった。



8月1日～20日の平均500hPa高度

実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。

<参考資料>
平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水										
9月	15.8	10.3	15.4	12.3	12.6	11.4	12.4	11.2	12.8	10.8	11.5	10.5
10月	16.2	12.6	15.5	13.8	15.8	10.2	16.5	7.8	14.3	9.8	15.6	7.6
11月	9.8	16.9	8.9	18.1	14.3	11.9	18.0	6.2	10.9	11.9	16.3	6.6

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。